

No.	件名・内容	回答
1	<p>新型コロナワクチンについて</p> <p>(内容)</p> <p>新型コロナワクチンの接種体制について、定期接種はもちろんのこと、任意接種についても市が主導して体制の構築、情報発信をしてください。また、子供への新型コロナワクチン予防接種の助成をお願いします。</p> <p>【受付 No.】 6-2006</p> <p>【受付日】 令和6年6月25日</p>	<p>新型コロナワクチンの任意接種につきましては、現在B類疾病となっており個人の発病または重症化の予防に重点を置き、本人が接種を希望する場合に実施されるものであることから、体制構築や情報発信は行っておりません。なお、令和6年10月から定期接種となる予定です。定期接種に関する情報発信等は決定次第、行ってまいります。また、子供への助成につきましては、現在B類疾病になっていることや定期接種の際も対象年齢ではないことから、予定はございません。</p> <p>(担当) 健康増進課 (電話) 048-774-1414</p>
2	<p>燃料費補助について</p> <p>(内容)</p> <p>障害者の燃料費補助をいただいておりますが、物価高騰の中で年間6千円というのは少なすぎるのではと思います。10年以上は変わっていないようなのでご検討をお願いします。1か月あたり500円では軽油でも50入りません。</p> <p>【受付 No.】 6-2014</p> <p>【受付日】 令和6年7月24日</p>	<p>近年の燃料費や物価の高騰は、市民生活や事業活動に大きな影響を与えております。こうした状況を踏まえ、国の事業として、所得税及び住民税の定額減税や、特に負担感の大きい低所得世帯に対し「物価高騰からし支援給付金」等の給付事業を実施しているところです。</p> <p>自動車燃料費の助成金につきましては、現時点においては増額の予定はございませんが、燃料費の高騰は全国的な問題でありますことから、引き続き国・県の動向を注視しながら、近隣市町村の状況に鑑み検討してまいりたいと考えておりますので、ご理解いただけますようよろしくお願いいたします。</p> <p>(担当) 障害福祉課 (電話) 048-775-5122</p>
3	<p>(件名)</p> <p>不妊治療妊娠出産の助成金について</p> <p>(内容)</p> <p>お隣の東京都や同じ埼玉県川口市などでは、不妊治療にかかる費用の助成や先進医療の費用の助成があるのですが、上尾市では不妊治療や不妊治療に伴う先進医療への助成がないよう見受けられます。</p> <p>そのため、助成金の制度を作っていただきたいです。現在不妊治療を行っているのですが、保険適応だとしてもかなり家計を圧迫している状況です。物</p>	<p>1.</p> <p>不妊治療にかかる助成につきましては、令和3年度まで市で実施しておりましたが、令和4年度に保険適用が開始されたことを受け、現在は不妊治療ならびに先進医療にかかる助成を実施していない状況でございます。</p> <p>不妊治療に関する支援につきましては、国や県による相談支援等がございますが、不妊治療に伴う先進医療の助成がなされるよう、県へも働きかけてまいります。</p> <p>また、市独自の事業といたしまして、不妊症看護認定看護師・生殖医療相談士の資格を持つ相談員による</p>

<p>価の高騰、少子化の中こういった助成金の導入は非常に助かりますので、ご検討いただきたいです。また独自の妊娠出産子育て助成金制度の検討もお願いいたします。</p> <p>【受付 No.】 6-2021 【受付日】 令和6年8月30日</p>	<p>「このとり相談（妊活・不妊相談）」、オンラインで産婦人科医・小児科医・助産師と相談が可能な「オンライン母子相談」などを実施しております。</p> <p>2. 市独自の子育て助成金制度としましては、0歳から18歳までの子どもの医療費を助成する「こども医療費」がございます。所得制限や自己負担金を設けず、すべての子どもの医療費を無償化しております。</p> <p>現時点においては、新たな子育て助成金制度の創設は予定しておりませんが、独自の子育て支援策として、令和6年10月から「保育所での紙おむつのサブスクサービス」「保育所英語体験事業」を実施するなど、「子育て世代が頑張れるまち」の実現を目指し、積極的に取り組んでいるところでございます。</p> <p>今後も、妊娠前から妊娠期、出産、子育て期までの切れ目ない支援の充実に取り組んでまいります。</p> <p>(1について) 健康増進課 直通番号048-774-1414 (2について) 子ども支援課 直通番号048-775-5120</p>
<p>4</p> <p>(件名) 帯状疱疹ワクチン接種への助成実施を</p> <p>(内容) おとなりの桶川でも実施している帯状疱疹ワクチン接種への助成。いつになったら上尾市でも実施されるのでしょうか。ぜひ早期に実施をお願いします！現在の検討状況をお聞かせください。</p> <p>【受付 No.】 6-2026 【受付日】 令和6年9月13日</p>	<p>帯状疱疹は法令に定められた定期予防接種の対象疾病ではないため、任意予防接種となります。接種費用は医療機関ごとに定められており、全額自己負担いただいています。</p> <p>そうした中、定期接種化に関しましては、国において審議が慎重に行われています。費用助成につきましては、国の定期接種として実施することが適切と考えますが、先行事例や県内他自治体の状況を参考に、国の動向も注視しながら調査・研究してまいります。</p> <p>(担当) 健康増進課 (電話) 774-1414</p>
<p>5</p> <p>(件名) 子育て世代へのサポートについて</p> <p>(内容) 民間のベビーシッター制度を利用した際の、補助金制度を導入検討お願いします。</p>	<p>市では本年度から、同じく子どもの預かりサービスを行う事業として、令和6年7月より緊急サポートセンター事業を開始しました。緊急サポートセンター事業では、急な依頼や、病児・病後児（風邪や発熱など）の預かりにも対応するため、ウェブサイトから利用登録・依頼を行うことができ、提供会員とのマッチング</p>

<p>祖父母や親戚が近くにおらず、自分たちだけで子育てを頑張っている核家族世帯はたくさんいるし、これからも市内に流入してくると思います。</p> <p>親だけで子育てをし続けるのはとても大変なことです。もしもの時に第三者の助けが得られると思えるだけでも精神的な支えになります。</p> <p>ファミリー・サポート・センターよりも選択肢や利便性に富んだ民間のベビーシッターサービスの方が、現実的に利用しやすいです。料金は安くはないですが、少しでも補助金を出していただけるとありがたいし、大変な子育ても頑張っていけそうと希望もわいてきます。</p> <p>ご検討よろしく申し上げます。</p> <p>【受付 No.】 6-2027 【受付日】 令和6年9月21日</p>	<p>により最短で当日の依頼も受け付けております。</p> <p>民間のベビーシッター利用に対する助成制度については実施しておりませんが、子どもの預かりや送迎などの支援サービスが必要な際には、緊急サポートセンターのご利用も検討いただければ幸いです。</p> <p>(担当) 子ども支援課 直通番号 048-783-4962</p>
<p>件名) ひとり親家庭への医療費免除支援の年齢引き上げのお願い</p> <p>(内容) 上尾市でひとり親で子育てしています。</p> <p>1. 子供が 18 歳になってからも京丹後市のような政策を上尾市でも実行可能でしょうか？今後の議会で取り扱っていただけませんか？切実に困っております。ご尽力宜しく願いいたします。</p> <p>6 2. また現在子供が 18 歳を過ぎるとひとり親支援、母子手当や医療費免除も無くなります。母子家庭手当につきましても、18 歳からが大きなお金が必要になります。年齢引き上げ or 新たな支援策のご検討をお願いしたい所存です。</p> <p>【受付 No.】 6-2031 【受付日】 令和6年10月3日</p>	<p>児童扶養手当法では、支給対象が 18 歳年度末までと定められており、本市においても同様の制度としてひとり親家庭等医療費支給事業を運用しております。ひとり親家庭に対する施策を含め子育て支援策については、必要に応じて国や県への要望を行い、引き続き多角的な視点でより充実した支援が図れるよう努めてまいります。</p> <p>なお、経済的な問題で生活にご不安がある場合は、生活支援課の福祉総合相談窓口である「ふくしの窓口」や、県の貸付制度である「母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付」がございますので、詳しくは下記までお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふくしの窓口」 生活支援課 048-783-4098</li> <li>・「母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付制度」 埼玉県東部中央福祉事務所 048-737-2359</li> </ul> <p>(担当) 子ども支援課 (電話) 048-775-6819</p>

<p>7</p>	<p>(件名) 子育て支援もっと具体的な支援を！</p> <p>(内容) 6年ぶりに上尾市に戻ってきましたが、子育て支援の政策が大きく変わっていないことに驚きました。他の市町ではファミリー・サポート・センター利用料の半額など、具体的な支援を行いました。上尾市の子ども数、予算の規模を考えても充実する余地があると考えます。もう少しだけ子育て世帯の目線になっていただけませんか。</p> <p>【受付No.】 6-2040 【受付日】 令和6年11月18日</p>	<p>本市では、妊活・妊娠から子育て期にわたり切れ目ないサポートを行う「子ども家庭総合支援センター」の開設や保育施設における紙おむつ処理の保護者負担の軽減、他市に先駆けた子ども・子育て支援複合施設「AGECOCO（あげここ）」の開設など、様々な取組を行うことで年少人口が転入超過するなど子育て世帯に選ばれるまちとなりました。</p> <p>今年度においても、子どもの医療費無償化を18歳まで拡充したり、急な預かりにも対応する「緊急サポートセンター」を開設したりするなど新たな取組も進めているところです。</p> <p>今後も、子育て世帯の目線に立ち、子どもや子育て家庭が本市に住んでよかったと思ってもらえるような取組を進めてまいります。</p> <p>(担当) 子ども支援課（電話）048-783-4962</p>
<p>8</p>	<p>(件名) 年末年始の急患診療について</p> <p>(内容) 年末年始の急患診療の体制を強化してほしい</p> <p>【受付No.】 6-2050 【受付日】 令和6年12月31日</p>	<p>現在、上尾市では平日夜間及び休日急患診療所の業務を上尾市医師会へ委託して行っております。毎年、年末年始については通常の日曜日や祝日より医師や看護師等を増やして対応を行っており、昨年末は診察を希望される方が多かったため、さらに増員を行いました。診察できる人数に限りがございますので、予約状況によっては、お断りせざるを得ない状況でした。</p> <p>医師等の増員及び電話回線の増設、ネット予約の実施につきましては、貴重なご提案として、上尾市医師会と情報を共有させていただきます。</p> <p>(担当) 健康増進課（電話）774-1414</p>